



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 7月号
令和2年6月30日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

変わったもの 変わってほしくないもの

副校長 大久保 作織

学校が再開してから、はや1か月が経ちました。初夏のまぶしい日差しの中、子どもたちは元気に登校しています。今年は児童の安全対策として、感染症拡大防止、マスク熱中症対策等が重くのしかかっていますが、保護者の皆様の健康観察・水筒持参等のご協力や、地域の皆様の登下校時の見守り活動等によって児童の安全が支えられていることに、大変感謝しております。

さて、「新しい生活様式」による学校生活が始まりました。実は、教える教師側として少し難しくなっていることがあります。それは、児童の表情を見とることです。教師は児童の表情を見て、理解の度合い等を推し量りつつ授業を進めています。マスクで顔の表情が分かりにくいですが、それでも目は隠れていませんので、子どもたちの目の表情を頼りに、反応をうかがいつつ授業を行っています。教師だけでなく子どもたちも、友だち同士のコミュニケーションで苦労しているかも知れません。それにしても、「目は口ほどにものを言う」とはよく言ったもので、子どもの目はすごく雄弁で素敵です。

授業を行うことが多少困難とはいえ、現在は状況が落ち着き、対面での授業を行うことができます。しかし、もしまた学校が臨時休校になった場合を想定し、公立学校でもICT機器を活用してリモート授業を行うことが考えられています。画面を通じて、教師と児童が直接会えなくても学習ができる時代になりました。一方、「^{なま}生」の学習活動を展開していく場も大切であると考えます。

個別支援級や1・2年生が育てている植木鉢や花壇の花や野菜たちは、世間の騒ぎなどどこ吹く風、太陽を浴びてぐんぐんと元気に育っています。5年生の廊下では、卵の中で目が見えていたメダカの赤ちゃんたちが卵からかえり、日に日に成長しています。このかわいい植物や生き物たちのことを、映像で見るだけで本当に理解できるのか？ 小さくても一生懸命泳ぐ「命」そのものの姿、じっくり見ないと分からない花の色のグラデーション、新芽の柔らかい感触、青臭い匂いさえ、本物に触れる実感として自分の中に入ってきます。教育とは、こういう生々しい体験を大切にすることも思うのです。

個別支援級で育てている元気な野菜たち（キュウリ・ナスなど）



「新しい生活様式」による学校生活で、変わらざるを得なかったことはたくさんあります。その中でも、変わってほしくないもの～子どもたちが友達と一緒に過ごす楽しい時間、「^{なま}生」の学習活動、子どもたちの目の輝き etc～を守るため、今日も教職員一同、子どもたちの帰った後の校舎内を念入りに消毒しています。